

第31回 布施緩和ケア研修会
緩和ケア × がん遺族支援

カトリック神父 の役割

～宗教者としてのケア～

カトリック布施教会
上田 憲 神父
2023年6月17日



お話し内容

- 自己紹介
- 宗教の意味～患者さん・家族
において～
- 「寄り添う」とは？
～失敗からの気づき～
- 私たちが心がけていること

自己紹介



上田 憲（1982年 12月 24日生まれ）

母：スリランカ人 父：日本人

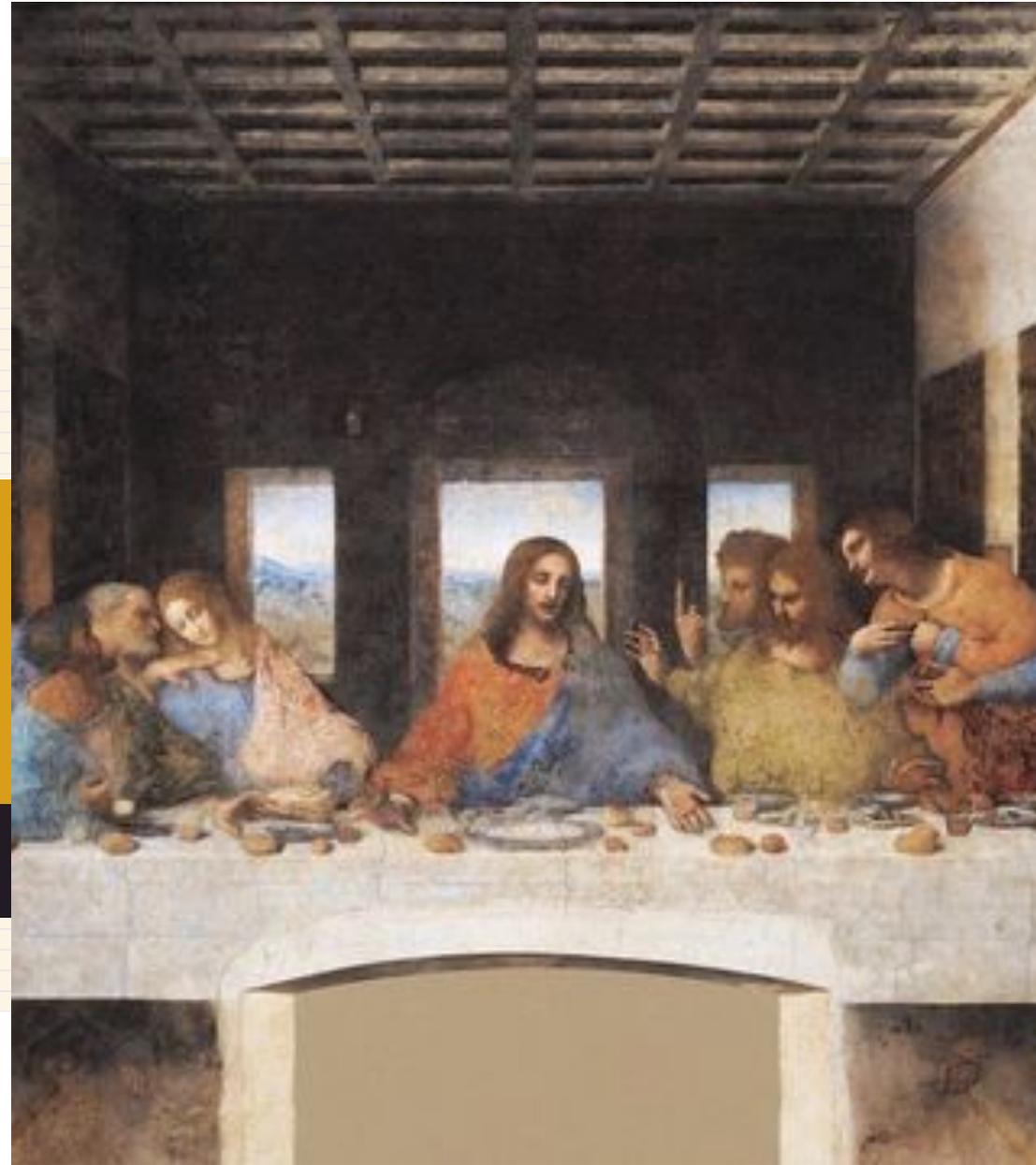
生まれた時からカトリックの信徒

2018年 3月17日 司祭叙階

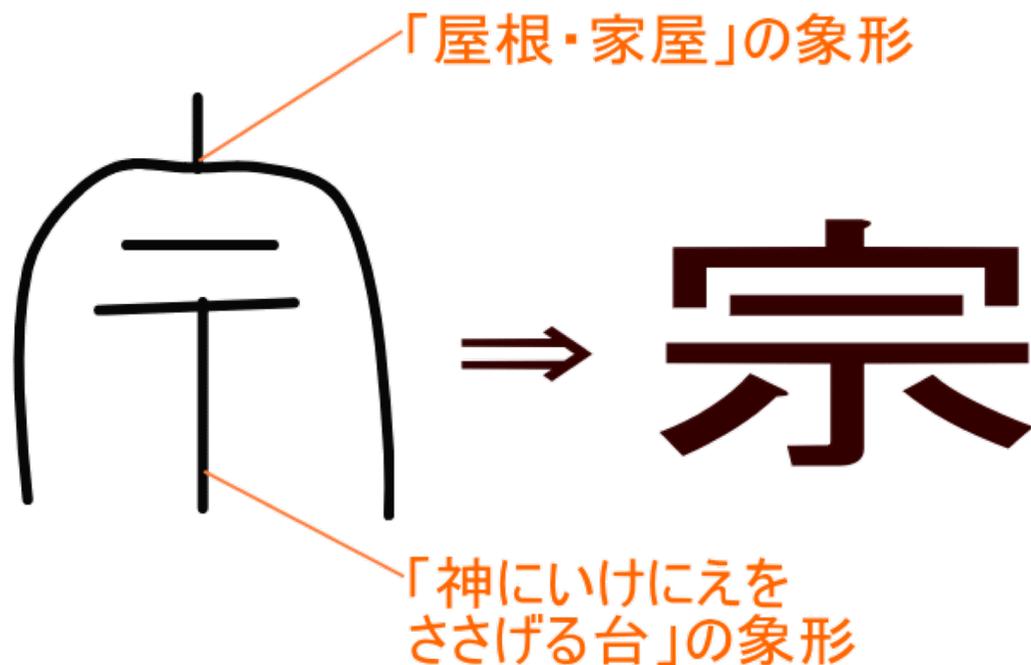
※「司祭」と「神父」は同義、「神父」と「牧師」は
宗派の違い

「宗教」とは？

RELIGIONが意味すること



「宗教」と言う漢字が意味すること



「宗」（しゅう・むね）は、「中心」をあらわす。

「宗教」＝（人の）
「中心を学ぶ・教える」

自分の中心（大切にしている）ことを知ることで、
自分の生き方を学ぶ。

宗教 = Religion から見えるキリスト教的宗教観



Re ligion

再び つながる

アダムとエバによって引き起こされた罪によって、人とのつながり、神とのつながりを失ったゆえ、それを再び取り戻す。

患者さんや、家族にとっての宗教

患者さん → 孤独を生きる中の支え・希望

ご家族 → 家族の見えない想いを知る手がかり

両者において、自分の力でどうしようもない現実に対して、見えない働き（神）へ委ねていく。

＝自己肯定、生と死に対する価値観の構築



最も大切な役割
＝「押しつけ」では
なく「寄り添う」

～「つながる」思い～

寄り添うことの意義

カトリックにおける最も中心的な教え = 愛
(徹底した、相手中心主義)

- 相手の想いを受け止めて、自分が考えうる、相手にとっての最善を差し出すこと

「寄り添う」

= 相手に変化を求めるのではなく、相手の想いを受け止め、理解しようとする。

パストラルケアについて

Pastoral Care・・・ Pastor(羊飼) = イエス・キリストのようなケア

主に、宗教的、精神的ケアの在り方

パストラルケアの際の心得

- ①良い聞き手となる
- ②気持ちのレベルで共に歩む
- ③宗教的ケア



私の転換点①



【ある患者さんとの出会い】

(患者さんの情報)

- 年配の神父（60代）
- 階段から落下
⇒ 脊髄損傷により全身不随
- 神学生（私）と看護師のシスターの訪問

私の転換点②



【ある家族の別れ】

- 患者さんは、お父さん。膵臓ガン
- 家族みんなカトリックの信徒だが、看護師の母や子どもたちはあまり教会に通えていない。
- 急な衰弱、別れに心が追い付かない。

大切にしたい思い①

パウロのコリントの教会への手紙（一コリント13章1～9）

「たとえば、人々の異言、天使たちの異言を語ろうとも、愛がなければ、わたしは騒がしいどら、やかましいシンバル。

たとえば、預言する賜物を持ち、あらゆる神秘とあらゆる知識に通じていようとも、たとえば、山を動かすほどの完全な信仰を持っていようとも、愛がなければ、無に等しい。

全財産を貧しい人々のために使い尽くそうとも、誇ろうとしてわが身を死に引き渡そうとも、愛がなければ、わたしに何の益もない。」

大切にしたい思い②

「愛は忍耐強い。愛は情け深い。ねたまない。愛は自慢せず、高ぶらない。礼を失せず、自分の利益を求めず、いらだたず、恨みを抱かない。不義を喜ばず、真実を喜ぶ。

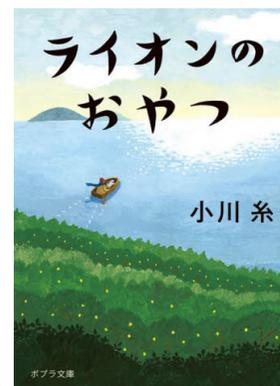
すべてを忍び、すべてを信じ、すべてを望み、すべてに耐える。愛は決して滅びない。預言は廃れ、異言はやみ、知識は廃れよう、わたしたちの知識は一部分、預言も一部分だから。」

参考図書



松本信愛

「いのちの福音と教育」
サンパウロ 1998年



小川 糸

「ライオンのおやつ」
ポプラ社 2019年



ミルトン・メイヤーロフ

「ケアの本質～生きることの
意味～」

田村 真・向野 宣之 訳
ゆみる出版 1987年



河野 博臣

「死の臨床」
医学書院 1989年